資料4

令和8年度(2026年度)
第1回　河川工作物AP会議

「サシルイ川治山ダムの改良について」

令和8年(2026年)8月13日

北海道
水産林務部林務局治山課
根室振興局林務課

1　現在までの対応状況について

令和4年度

石組みによる魚道及び減勢工の設置、治山ダム本堤及び副堤の放水路断面修正

令和5年度

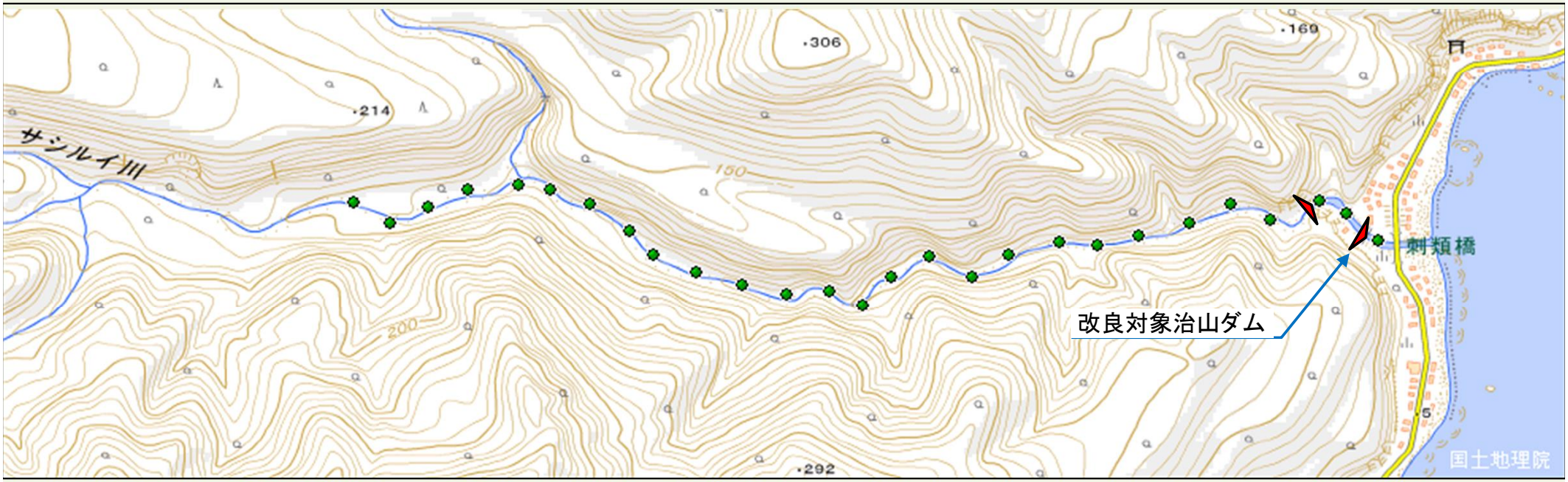
改良工事の効果検証調査としてサケ科魚類のモニタリング調査を実施

令和6年度

サケの遡上が回復するように、石組み魚道及び治山ダムの再改良の実施

令和7年度

再改良工事の効果検証調査としてサケ科魚類のモニタリング調査を実施



2　令和7年度モニタリング調査結果

○カラフトマス

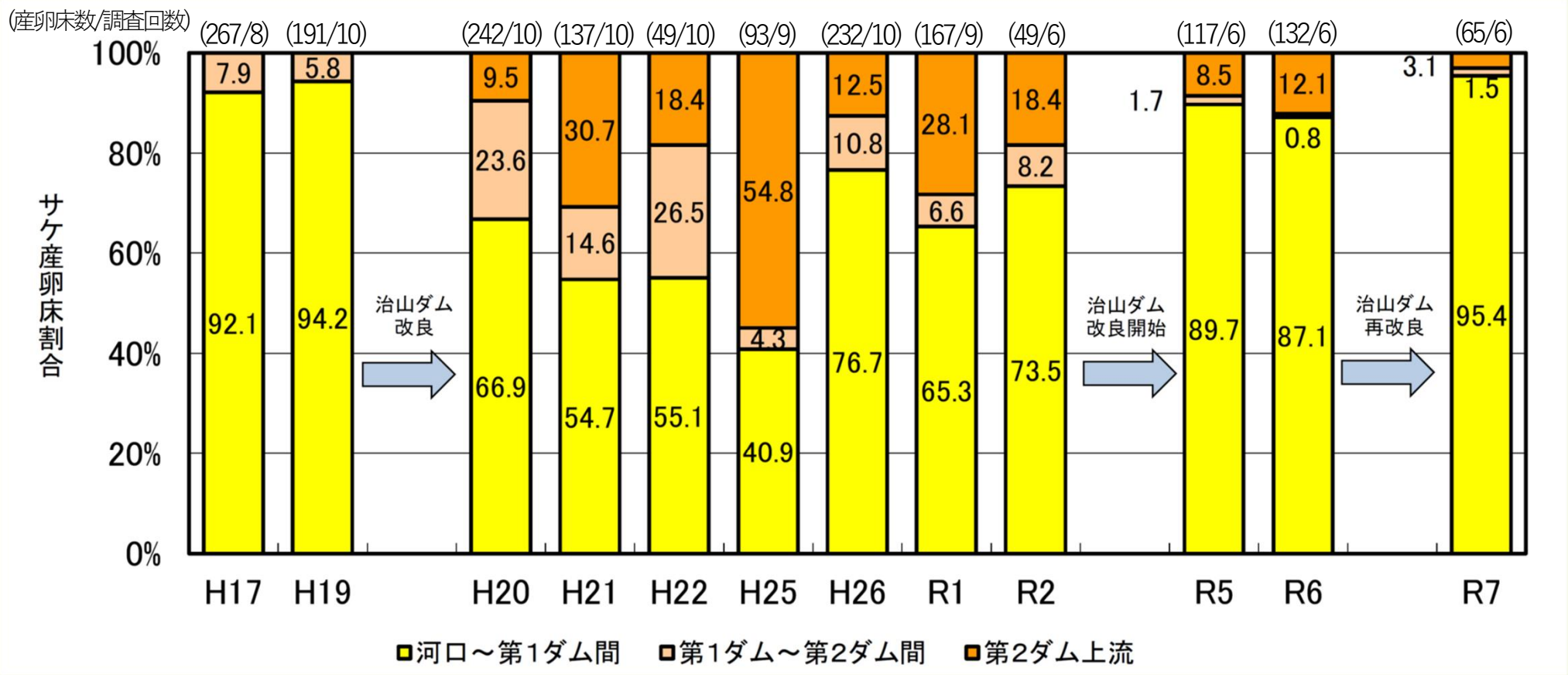
調査日全てで親魚および産卵床を確認することはできなかった

○サケ

調査日全てで産卵床を確認した

産卵床割合（第1ダム上流）

「H20～R02」：35.5%　　「R05～R06」：11.5%　　「R07」：4.6%



3　前回会議までのまとめ(概要)

過去2回の魚道改良及びモニタリング調査の結果

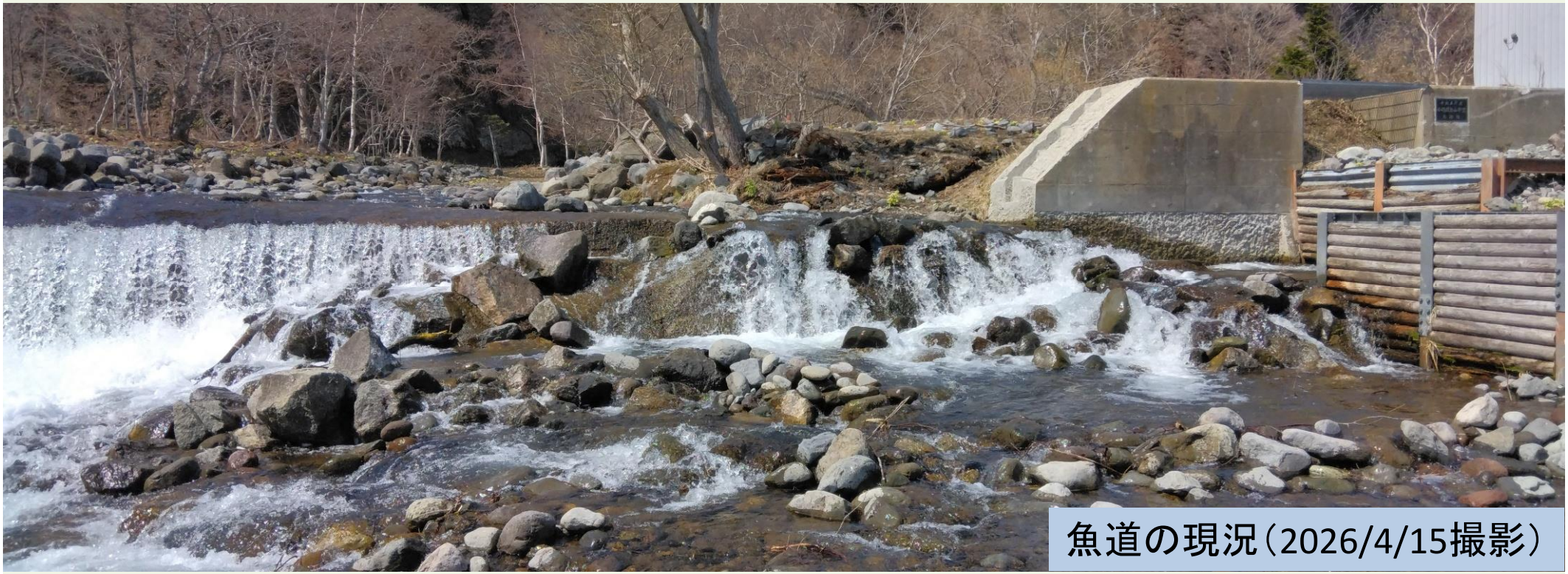
過去の議論を確認

他河川の事例

豪雨による河床変動

応急的な措置と恒久的な措置を分けて検討

課題解決へ向けて抜本的な検討も必要



魚道の現況(2026/4/15撮影)

4　令和8年度の対応について

○定点カメラの設置

使用機材：G-cam04
設置期間：令和8年8月下旬～11下旬
設置場所：2箇所

○　定点カメラは、24時間動画撮影が可能であり、次の内容を把握する目的で設置する。
・魚類の遡上状況確認
（遡上経路と流水の関係を把握）
・洪水時における、土砂移動と遡上の関係を把握



○恒久対策の検討（前回会議の指摘を踏まえ恒久対策を検討する）